

2020年4月18日から2022年3月31日の間にCovidChaserデータベースを利用された  
北海道における新型コロナウイルス受け入れ医療機関のご担当者様

## 「COVID-19 入院情報共有システム『Covid Chaser』データベースの解析:後ろ向き観察研究」へご協力をお願い

### 研究協力をお願い

当講座では「COVID-19 入院情報共有システム『Covid Chaser』データベースの解析:後ろ向き観察研究」という研究を行います。この研究は、2020年4月18日から2022年3月31日までにCovidChaserデータベースに登録されたデータならびに利用者へのアンケートを解析する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：COVID-19 入院情報共有システム『Covid Chaser』データベースの解析:後ろ向き観察研究

対象期間：2020年4月18日～2022年3月31日

研究責任者：札幌医科大学 救急医学講座 講師 上村修二

研究実施場所：札幌医科大学

### (2) 研究の意義、目的について

2019年12月から中国湖北省の武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）は現在まで世界的流行が続いています。患者の致死率を下げるためには、資源の効率的運用が必要です。

COVID-19患者に対して、感染症法に基づき、都道府県知事ならびに保健所設置市長による入院ならびに宿泊療養の措置が行われており、新規陽性者と医療機関とのマッチング（以下、入院調整）は、医療資源の配分において重要な課題です。北海道における第2波の入院調整において、具体的な目標をもった人的資源の投入と業務負荷の軽減が重要な戦略課題となり、札幌医科大学救急医学講座は、COVID-19入院情報共有システム「Covid Chaser」を（株）DBPowersと共同開発して運用することで北海道ならびに札幌市の支援を行いました。

地域の実情に合わせた公衆衛生における情報共有システムは有用なものと考えられるが、COVID-19において報告はインディアナ州で開発された1件しかない状況であり、本システムの利用状況を解析して効果を明らかにすることで、将来の感染症対策への示唆を行います。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる情報の種類）

2020年4月18日～2022年3月31日までにCovid Chaserデータベースに登録されたデータならびに2021年2-3月に実施したCovidChaser使用に関する、新型コロナウイルス受け入れ医療機関ならびに行政での運用スタッフを対象としたアンケートデータを利用します。

この研究は、以下の情報を用いて行われます。

#### 【CovidChaser データベース】

- ・入院患者数 疑い、軽症、中等症、人工呼吸器、ECMO
- ・受け入れ可能人数 疑い、軽症、中等症、人工呼吸器、ECMO
- ・備考（自由記載欄）

#### 【CovidChaser に対するアンケートデータ】

アンケートへの同意 年齢（半角）、性別、地域  
行政関係者か 病院関係者か 公的病院か 民間病院か  
職種 勤務歴（年数） 主な用途 入力担当者は一人か、複数人か  
週に何日使用するか 他の施設の情報を見るか 閲覧する他の施設の情報  
CovidChaser がないときの入院調整にかかる労力  
CovidChaser があるときの入院調整にかかる労力  
Covid Chaser を導入してよかった点  
COVID-Chaser の活用方法  
パフォーマンス（スピード感）  
パスワード認証方法  
情報共有の範囲  
透析の項目について  
透析項目の入力を行っていない理由  
スマートフォン（スマホ）での入力・閲覧のニーズ  
入力項目について最も負担が大きいもの  
マニュアルへの評価  
自由記載

#### （４）研究期間について

病院長承認日から 2026 年 3 月 31 日までを予定しております。

#### （５）予定データ数

研究対象のデータ数は約 11 万件を予定しております。

#### （６）情報の保存、二次利用

この研究に使用した電子情報は、研究の中止または研究終了後 10 年間、札幌医科大学救急医学講座内で、パスワードで管理・制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、札幌医科大学倫理委員会で承認を得ます。

#### （７）情報の管理責任者

収集した情報は、札幌医科大学救急医学講座 上村修二が管理を行います。

#### （８）情報開示・利益相反ならびにインフォームド・コンセントについて

本研究は、札幌医科大学倫理委員会の承認ならびに札幌医科大学学長の許可を受けて実施します。特定の企業等から支援を受けて行うものではなく、利益相反は存在しません。研究計画について、下記にお問い合わせいただければ、札幌医科大学倫理委員会で承認を受けた研究計画書を開示させていただきます。

本研究は、新たに試料・情報を取得することはなく、既存の診療情報のみを用いて実施する観察研究です。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及びガイダンスに基づいて、本研究のインフォームド・コンセントについてはこちらの情報公開によって行われることとしております。

CovidChaser データベースの利用された医療機関に対して、本情報公開文書での内容をみて、拒否できる機会（オプトアウト）を保証しております。

研究協力のお願ひにお示しした通り、この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希

望される場合は下記の問い合わせ先にご連絡下さい。オプトアウトの期限は、2023年3月31日とさせていただきます。

**(9) 費用負担ならびに健康などのリスクについて**

研究参加者の費用の負担はありません。また本研究は、過去の情報をもとに行う研究であるため、健康被害などのリスクはございません。

**(10) 個人情報保護について**

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

**(10) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

**(11) 問い合わせ等の連絡先**

札幌医科大学 救急医学講座 講師 上村修二

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目291番地

電話番号：011-611-2111（代表） 内線：37110（平日 9時～17時まで）

メールアドレス：[2020covidstudy.smu99@gmail.com](mailto:2020covidstudy.smu99@gmail.com)（平日日中・平日夜間・休日）